

1 食育に関するアンケート調査の結果

調査方法 対 象：市内に居住する満 16 歳以上の市民 3,000 人
 抽 出 方 法：住民基本台帳より無作為抽出
 調 査 方 法：郵送法による配付及び回収
 調 査 期 間：令和元（2019）年 9 月 25 日（水）～ 10 月 16 日（水）
 回 答 者 数：1,424 人（男性：610 人、女性：792 人、性別不詳：22 人）
 回 答 率：47.5%

（単位：人）

性別 / 世代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答	合計
男性	24	51	70	92	102	105	111	54	1	610
女性	13	78	119	104	115	142	135	84	2	792
無回答	0	0	0	0	1	0	0	2	19	22
合計	37	129	189	196	218	247	246	140	22	1,424

◆ 次の内容をよく読んでお答えください。

「食育」とは、食に関する知識や正しい情報を選択する力を身に付け、自然の恩恵や食に関わる人々の活動への感謝、理解を深め、心身ともに健康な食生活を実践するための取り組みです。例えば、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事を実践すること、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けること、農水産物の旬を知ること、食べ残しをしないように考えることなど、食に関する様々な取り組みも食育です。

【問 1】 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（○印は 1 つ）

- 言葉も意味も知っていた (715 人、50.2%)
- 言葉は知っていたが、意味は知らなかった (516 人、36.2%)
- 言葉も意味も知らなかった (167 人、11.7%)

【問 2】 あなたは、「食育」に関心がありますか。（○印は 1 つ）

- 関心がある (367 人、25.8%)
- どちらかといえば関心がある (721 人、50.6%)
- どちらかといえば関心がない (226 人、15.9%)
- 関心がない (82 人、5.8%)

→ 【問 4】 へ

※【問 3】 は、【問 2】 で「1 または 2」と答えた方のみお答えください。

※対象者数：1,088 人

【問3】あなたが、「食育」に関心がある理由はなんですか。(○印はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1 子どもの心身の健全な発育のために必要だから | (670 人、61.6%) |
| 2 自然の恩恵や食に対する感謝の念がうすれているから | (376 人、34.6%) |
| 3 食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事等)が気になるから | (695 人、63.9%) |
| 4 「肥満」や「やせすぎ」が問題になっているから | (299 人、27.5%) |
| 5 生活習慣病(糖尿病や高血圧症など)が問題になっているから | (628 人、57.7%) |
| 6 食材を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから | (246 人、22.6%) |
| 7 消費者と生産者の間の交流や信頼が大切だと思うから | (147 人、13.5%) |
| 8 有機農業などの自然環境と調和した食料生産が重要だから | (242 人、22.2%) |
| 9 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから | (209 人、19.2%) |
| 10 食中毒予防などの食品の安全確保が重要だから | (277 人、25.5%) |
| 11 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから | (556 人、51.1%) |
| 12 その他 | (33 人、 3.0%) |

【問4】誰もが健全な食生活を行うためには、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが「食育」に取り組むことが必要です。あなたは、日頃から、「食育」に関する取り組みをしていますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1 栄養バランスを考えた食事をする | (781 人、54.8%) |
| 2 野菜をとるよう心がける | (1,026 人、72.1%) |
| 3 規則正しく食事をする | (799 人、56.1%) |
| 4 家族や友人等と一緒に食事をする | (569 人、40.0%) |
| 5 旬の食材を選ぶ | (573 人、40.2%) |
| 6 農林漁業を体験する | (30 人、 2.1%) |
| 7 地元産の食材を購入する | (289 人、20.3%) |
| 8 食事の際のあいさつやマナーを大切にする | (525 人、36.9%) |
| 9 郷土料理や行事食などの食文化を大切にする | (201 人、14.1%) |
| 10 食の安全性に関する正しい知識を身につける | (349 人、24.5%) |
| 11 表示をよく見て食品を購入する | (597 人、41.9%) |
| 12 外食・中食(持ち帰って食べる調理済み食品)の栄養成分表示を参考にする | (135 人、 9.5%) |
| 13 食材を使い切るよう心がける | (706 人、49.6%) |
| 14 食生活の改善に関する勉強会へ参加する | (22 人、 1.5%) |
| 15 食に関するボランティア活動へ参加する | (11 人、 0.8%) |
| 16 その他 | (27 人、 1.9%) |
| 17 特にしていない | (109 人、 7.7%) |

第1章

計画の策定にあたって

【問5】あなたは、主食・主菜・副菜を揃えた食事をするよう心掛けていますか。(主食＝米・パン・麺類等、主菜＝魚・肉・卵・大豆製品等を使ったメインの料理、副菜＝野菜・きのこ・芋・海藻等を使った小鉢・小皿の料理)(○印は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 心掛けしている | (506 人、35.5%) |
| 2 どちらかと言えば心掛けしている | (702 人、49.3%) |
| 3 どちらかと言えば心掛けていない | (140 人、9.8%) |
| 4 心掛けていない | (63 人、4.4%) |

第2章

計画の基本方針

【問6】主食・主菜・副菜を揃えて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。(○印は1つ)

- | | | |
|---------|---------------|---------|
| 1 週5日以上 | (650 人、45.6%) | → 【問8】へ |
| 2 週3～4日 | (351 人、24.6%) | |
| 3 週1～2日 | (290 人、20.4%) | |
| 4 一度もない | (77 人、5.4%) | |

※【問7】は、【問6】で「2、3、4」のいずれかに答えた方のみお答えください。

※対象者数：718人

第3章

施策の展開

【問7】あなたが主食・主菜・副菜を揃えて食べるには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1 作る手間がかからない | (338 人、47.1%) |
| 2 用意する時間がある | (349 人、48.6%) |
| 3 自分で作る技術がある | (204 人、28.4%) |
| 4 食べる時間がある | (214 人、29.8%) |
| 5 食費に余裕がある | (231 人、32.2%) |
| 6 食欲がある | (125 人、17.4%) |
| 7 3つ揃えて食べるメリットが分かる | (98 人、13.6%) |
| 8 家以外(外食、コンビニ、職場、学校等)で手軽に食べることができる | (156 人、21.7%) |
| 9 その他 | (20 人、2.8%) |

第4章

推進体制と進行管理

【問8】あなたは、健康のために成人が1日に必要な野菜の摂取量は350g(野菜料理5～6皿)とされていることを知っていましたか。(○印は1つ)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 知っていた | (696 人、48.9%) |
| 2 知らなかった | (707 人、49.6%) |

【問9】あなたは、毎日350gの野菜を摂取していると思いますか。(○印は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 摂取していると思う | (220 人、15.4%) |
| 2 摂取していないと思う | (966 人、67.8%) |
| 3 わからない | (228 人、16.0%) |

【問 10】 あなたは、健康のために成人が1日に必要な果物の摂取量は200g（りんごの場合は1個、みかんの場合は2個（ともに可食部））とされていることを知っていましたか。（○印は1つ）

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 知っていた | (293 人、20.6%) |
| 2 知らなかった | (1,121 人、78.7%) |

【問 11】 あなたは、毎日200gの果物を摂取していると思いますか。（○印は1つ）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 摂取していると思う | (207 人、14.5%) |
| 2 摂取していないと思う | (1,100 人、77.2%) |
| 3 わからない | (107 人、 7.5%) |

◆ 次の内容をよく読んで質問にお答えください。

BMIとは、肥満度の目安となる指数です。日本肥満学会が決めた判定基準では、統計的にもっとも病気にかかりにくいBMI 22を標準とし、25以上を肥満として、肥満度を4つの段階に分けています。

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)
適正体重 (kg) = 身長 (m) × 身長 (m) × 22

肥満度の判定基準（日本肥満学会）

	B M I
低体重（やせ）	18.5 未満
普通体重	18.5 以上 25 未満
肥満（1度）	25 以上 30 未満
肥満（2度）	30 以上 35 未満
肥満（3度）	35 以上 40 未満
肥満（4度）	40 以上

【問 12】 あなたは、自分の適正体重を知っていましたか。（○印は1つ）

- | | |
|----------|---------------|
| 1 知っていた | (974 人、68.4%) |
| 2 知らなかった | (432 人、30.3%) |

◆ 次の内容をよく読んで質問にお答えください。

「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」とは、内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態をいいます。

（参考）ウエスト周囲が、男性 85cm 以上、女性 90cm 以上で、次のうち2つ以上に当てはまる場合、メタボリックシンドロームと診断されます。（出典：日本肥満学会）

- 血清脂質 中性脂肪値 150mg/dl 以上、または
HDL コレステロール値 40mg/dl 未満
- 血圧 収縮期（最高）血圧 130mmHg 以上、または
拡張期（最低）血圧 85mmHg 以上
- 血糖 空腹時血糖値 110mg/dl 以上

第1章

計画の策定にあたって

【問 13】あなたは、「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」の予防や改善のために、適切な食事または定期的な運動を実施していますか。（○印は1つ）

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 実践して、半年以上継続している | (398 人、27.9%) |
| 2 実践しているが、半年未満である | (49 人、 3.4%) |
| 3 時々気をつけているが、継続的ではない | (632 人、44.4%) |
| 4 現在はしていないが、近いうちにしようと思っている | (121 人、 8.5%) |
| 5 現在していないし、しようとも思わない | (179 人、12.6%) |

第2章

計画の基本方針

【問 14】メタボリックシンドローム予防のため、食事の面でどのようなことに気をつけていますか。（○印はいくつでも）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 エネルギー（カロリー）摂取量を調整すること | (487 人、34.2%) |
| 2 塩分を取り過ぎないようにすること | (718 人、50.4%) |
| 3 脂肪分の量や質を調整すること | (507 人、35.6%) |
| 4 甘いものを取り過ぎないようにすること | (655 人、46.0%) |
| 5 野菜をたくさん食べるようにすること | (792 人、55.6%) |
| 6 果物を食べるようにすること | (254 人、17.8%) |
| 7 何も気をつけていない | (175 人、12.3%) |

第3章

施策の展開

【問 15】あなたは、朝食（菓子パンや果物を含みます）をとっていますか。ただし、菓子やサプリメント（栄養補助食品）、飲み物のみの場合は、「4とっていない」に記入してください。（○印は1つ）

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 1 毎日とっている | (1,055 人、74.1%) | → 【問 18】へ |
| 2 週に4 日以上とっている | (88 人、 6.2%) | |
| 3 週に1 ～3 日とっている | (86 人、 6.0%) | |
| 4 とっていない | (158 人、11.1%) | |

※【問 16】は、【問 15】で「2、3、4」のいずれかに答えた方のみお答えください。

※対象者数：332 人

第4章

推進体制と進捗管理

【問 16】あなたが、朝食の代わりにとっているものはありますか。（○印はいくつでも）

- | | |
|---|---------------|
| 1 菓子 | (35 人、10.5%) |
| 2 サプリメント（栄養補助食品）のうち、エネルギーを含むもの | (40 人、12.0%) |
| 3 サプリメント（栄養補助食品）のうち、エネルギーを含まないもの | (14 人、 4.2%) |
| 4 飲み物のうち、エネルギーを含むもの | (87 人、26.2%) |
| 5 飲み物のうち、エネルギーを含まないもの
(砂糖・ミルクを加えない日本茶・コーヒー・紅茶・水など) | (145 人、43.7%) |
| 6 何もとっていない | (58 人、17.5%) |
| 7 その他 | (26 人、 7.8%) |

※【問17】は、【問15】で「2、3、4」のいずれかに答えた方のみお答えください。

※対象者数：332人

【問17】あなたが毎日朝食をとるには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------|
| 1 朝食を用意する手間がかからない | (94 人、28.3%) |
| 2 朝食を用意する時間がある | (100 人、30.1%) |
| 3 朝早く起きられる | (120 人、36.1%) |
| 4 朝、食欲がある | (124 人、37.3%) |
| 5 朝食を食べる時間がある | (121 人、36.4%) |
| 6 朝食を食べる習慣がある | (90 人、27.1%) |
| 7 朝食を食べるメリットがわかる | (34 人、10.2%) |
| 8 家以外（外食、コンビニ、職場、学校等）で手軽にとることができる | (31 人、 9.3%) |
| 9 その他 | (17 人、 5.1%) |

【問18】あなたは、家族や家族以外のだれか（友人、地域、所属コミュニティ（職場等を含む）など）と一緒に食事をするのが、1週間のうちにどれくらいありますか。(○印は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1 週5日以上 | (684 人、48.0%) |
| 2 週3～4日 | (132 人、 9.3%) |
| 3 週1～2日 | (262 人、18.4%) |
| 4 一度もない | (320 人、22.5%) |

◆ 次の内容をよく読んで質問にお答えください。

はちまるにいまる

「8020運動」とは、“80歳になっても20本以上自分の歯を保とう”という運動です。

【問19】あなたは、「8020運動」を知っていましたか。(○印は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | (889 人、62.4%) |
| 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった | (93 人、 6.5%) |
| 3 言葉も意味も知らなかった | (423 人、29.7%) |

【問20】あなたは食事の時、よく噛んで味わって食べるよう気をつけていますか。(○印は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 気をつけている | (723 人、50.8%) |
| 2 気をつけていない | (376 人、26.4%) |
| 3 意識したことがない | (309 人、21.7%) |

【問 21】 地元で生産されたものを、地元で消費することを「地産地消」といいます。「地産地消」によって、地元の農業や食への理解が進み、生産者と消費者の信頼関係を築くことも可能になります。あなたは、できるだけ地元（愛知県）で生産されたものを購入するようにはしていますか。（○印は1つ）

- | | |
|---------|---------------|
| 1 している | (602 人、42.3%) |
| 2 していない | (796 人、55.9%) |

【問 22】 日本には、物（資源）を大事にする「もったいない」という言葉があります。あなたは、食事（外食も含む）で食べ残しをすることがありますか。（○印は1つ）

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 食べ残しをしないようにしている | (1,047 人、73.5%) |
| 2 「もったいない」と思うが食べ残すことがある | (351 人、24.6%) |
| 3 食べ残しをするが、「もったいない」と思わない | (13 人、 0.9%) |

【問 23】 あなたが食育に関して、今後取り組んでいきたいことはなんですか。（○印はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1 栄養バランスを考えた食事をする | (1,048 人、73.6%) |
| 2 野菜をとるよう心がける | (1,069 人、75.1%) |
| 3 規則正しく食事をする | (892 人、62.6%) |
| 4 家族や友人等と一緒に食事をする | (564 人、39.6%) |
| 5 旬の食材を選ぶ | (638 人、44.8%) |
| 6 農林漁業を体験する | (61 人、 4.3%) |
| 7 地元産の食材を購入する | (436 人、30.6%) |
| 8 食事の際のあいさつやマナーを大切にする | (514 人、36.1%) |
| 9 郷土料理や行事食などの食文化を大切にする | (255 人、17.9%) |
| 10 食の安全性に関する正しい知識を身につける | (495 人、34.8%) |
| 11 表示をよく見て食品を購入する | (586 人、41.2%) |
| 12 外食・中食（持ち帰って食べる調理済み食品）の栄養成分表示を参考にする | (168 人、11.8%) |
| 13 食材を使い切るよう心がける | (768 人、53.9%) |
| 14 食生活の改善に関する勉強会へ参加する | (49 人、 3.4%) |
| 15 食に関するボランティア活動へ参加する | (13 人、 0.9%) |
| 16 その他 | (16 人、 1.1%) |
| 17 特にない | (62 人、 4.4%) |

【問 24】 あなたが食育に関して、市に期待する施策はなんですか。(○印はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1 ホームページやイベントなどでの食育情報の発信・P R | (227 人、 15.9%) |
| 2 食育に関する市民講座や教室の開催 | (138 人、 9.7%) |
| 3 地元産食材の利用促進 | (434 人、 30.5%) |
| 4 学校や保育所などでの食育の推進 | (514 人、 36.1%) |
| 5 店舗における情報やメニューの提供などによる食育の推進 | (395 人、 27.7%) |
| 6 農業体験などの食農教育の推進 | (123 人、 8.6%) |
| 7 伝統料理や伝統野菜などの食文化継承の推進 | (251 人、 17.6%) |
| 8 食の安全・安心に関する情報の提供 | (651 人、 45.7%) |
| 9 食品廃棄物の発生抑制や生ごみの循環利用の推進 | (518 人、 36.4%) |
| 10 その他 | (39 人、 2.7%) |
| 11 特になし | (184 人、 12.9%) |

あなたと同居している家族で 16 歳未満（平成 31 年 4 月 1 日現在。子、兄弟姉妹、孫など）の方がいらっしゃる場合は、その方について、次の【問 25】～【問 29】にお答えください。複数いらっしゃる場合は、最年長の方についてお答えください。

【問 25】 その方は、いくつですか。同じく「平成 31 年 4 月 1 日現在」でお答えください。

() 歳 ※16 歳未満の同居人がいる人：326 人

【問 26】 その方は、朝食（菓子パンや果物を含みます。）をとっていますか。ただし、菓子やサプリメント（栄養補助食品）、飲み物のみの場合は、「4 とっていない」に記入してください。(○印は 1 つ)

※対象者数：326 人

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 毎日とっている | (298 人、 91.4%) → 【問 29】へ |
| 2 週に 4 日以上とっている | (12 人、 3.7%) |
| 3 週に 1～3 日とっている | (7 人、 2.1%) |
| 4 とっていない | (7 人、 2.1%) |

※【問 27】は、【問 26】で「2、3、4」のいずれかに答えた方のみお答えください。

※対象者数：26 人

【問 27】 その方が、朝食の代わりにとっているものはありますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|---|---------------|
| 1 菓子 | (2 人、 7.7%) |
| 2 サプリメント(栄養補助食品)のうち、エネルギーを含むもの | (2 人、 7.7%) |
| 3 サプリメント(栄養補助食品)のうち、エネルギーを含まないもの | (0 人、 - %) |
| 4 飲み物のうち、エネルギーを含むもの | (10 人、 38.5%) |
| 5 飲み物のうち、エネルギーを含まないもの
(砂糖・ミルクを加えない日本茶・コーヒー・紅茶・水など) | (3 人、 11.5%) |
| 6 何もとっていない | (3 人、 11.5%) |
| 7 その他 | (6 人、 23.1%) |

※【問 28】 は、【問 26】 で「2、3、4」のいずれかに答えた方のみお答えください。

※対象者数：26 人

【問 28】 その方が毎日朝食をとるには、どのようなことが必要だと思いますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 朝食を用意する手間がかからない | (2 人、 7.7%) |
| 2 朝食を用意する時間がある | (7 人、 26.9%) |
| 3 朝早く起きられる | (19 人、 73.1%) |
| 4 朝、食欲がある | (12 人、 46.2%) |
| 5 朝食を食べる時間がある | (13 人、 50.0%) |
| 6 朝食を食べる習慣がある | (8 人、 30.8%) |
| 7 朝食を食べるメリットがわかる | (6 人、 23.1%) |
| 8 家以外で手軽にとることができる | (2 人、 7.7%) |
| 9 その他 | (3 人、 11.5%) |

【問 29】 その方に食育について伝えている(伝えたい) ことはありますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1 はしの持ち方などの食事のマナー | (250 人、 76.7%) |
| 2 「いただきます」「ごちそうさま」などの食に関する感謝の心 | (267 人、 81.9%) |
| 3 栄養についての知識 | (132 人、 40.5%) |
| 4 朝ごはんを食べるなどの望ましい食習慣 | (205 人、 62.9%) |
| 5 だしの取り方などの基本的な調理技術 | (56 人、 17.2%) |
| 6 郷土料理や行事食などの食文化 | (63 人、 19.3%) |
| 7 食の楽しさ(団らん) | (192 人、 58.9%) |
| 8 旬や鮮度などの食品の選び方 | (86 人、 26.4%) |
| 9 食の安全性に関する知識 | (106 人、 32.5%) |
| 10 食べ残しや生ごみを減らすなど環境に配慮した食生活 | (164 人、 50.3%) |
| 11 その他 | (2 人、 0.6%) |
| 12 特に伝えたいことはない | (15 人、 4.6%) |

2 名古屋市食育推進計画（第4次）の策定経過

開催日時	主な内容
令和2年7月27日	第1回名古屋市食育推進懇談会 ・名古屋市食育推進計画（第3次）の概況について ・名古屋市食育推進計画（第4次）の策定について
令和2年9月18日	第2回名古屋市食育推進懇談会 ・名古屋市食育推進計画（第4次）の策定について
令和2年10月16日	第3回名古屋市食育推進懇談会 ・名古屋市食育推進計画（第4次）の策定について
令和2年11月9日	第1回名古屋市食育推進連絡会議 ・名古屋市食育推進計画（第4次）案について
令和2年12月28日～ 令和3年1月28日	市民意見の募集（パブリックコメント）
令和3年2月22日	第4回名古屋市食育推進懇談会 ・名古屋市食育推進計画（第4次）の策定について
令和3年3月29日	第2回名古屋市食育推進連絡会議 ・名古屋市食育推進計画（第4次）について
令和3年3月	名古屋市食育推進計画（第4次）策定

第1章

計画の策定にあたって

第2章

計画の基本方針

第3章

施策の展開

第4章

推進体制と進行管理

資料編

3 食育基本法の概要

第1章

計画の策定にあたって

第2章

計画の基本方針

第3章

施策の展開

第4章

推進体制と進行管理

1. 目的

国民が健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育を推進するため、施策を総合的かつ計画的に推進すること等を目的とする。

2. 関係者の責務

(1) 食育の推進について、国、地方公共団体、教育関係者、農林漁業関係者、食品関連事業者、国民等の責務を定める。

(2) 政府は、毎年、食育の推進に関して講じた施策に関し、国会に報告書を提出する。

3. 食育推進基本計画の作成

(1) 食育推進会議は、以下の事項について食育推進基本計画を作成する。

- ① 食育の推進に関する施策についての基本的な方針
- ② 食育の推進の目標に関する事項
- ③ 国民等の行う自発的な食育推進活動等の総合的な促進に関する事項
- ④ その他必要な事項

(2) 都道府県は都道府県食育推進計画、市町村は市町村食育推進計画を作成するよう努める。

4. 基本的施策

- ① 家庭における食育の推進
- ② 学校、保育所等における食育の推進
- ③ 地域における食生活の改善のための取組の推進
- ④ 食育推進運動の展開
- ⑤ 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
- ⑥ 食文化の継承のための活動への支援等
- ⑦ 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

5. 食育推進会議

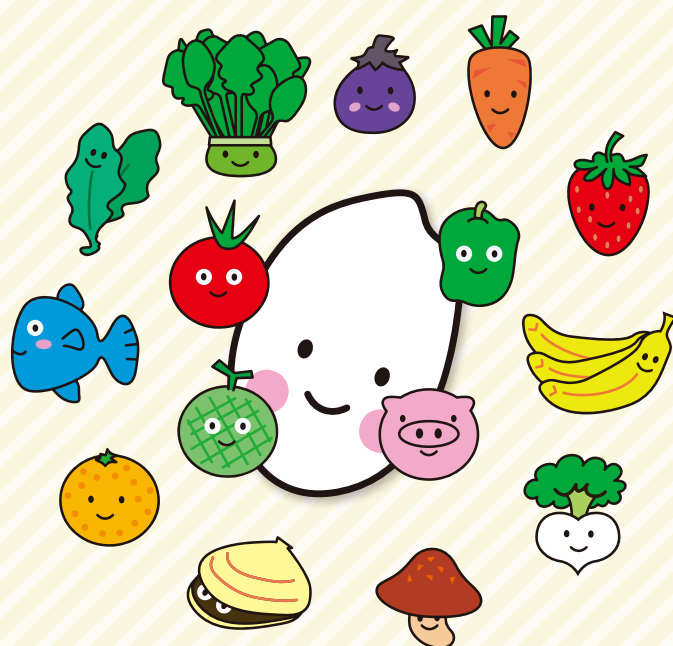
(1) 農林水産省に食育推進会議を置き、会長（農林水産大臣）及び委員（関係大臣、有識者）25名以内で組織する。

(2) 都道府県に都道府県食育推進会議、市町村に市町村食育推進会議を置くことができる。

名古屋市食育推進計画（第4次）

編集・発行 名古屋市健康福祉局健康部健康増進課
〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL (052) 972-3078
FAX (052) 972-4152

発行年月 令和3年3月



名古屋市食育推進計画(第4次)

健全な食生活を再発見！